



キッコーマンメディカルニュース

# MEDICAL NEWS

ホームページアドレス <http://hospital.kikkoman.co.jp/>

## 育児と集団生活について

小児科部長 竹内正人



### 育児

育児に関して日頃感じていることをふたつほど書かせていただきます。

一つ目は育児に絶対の正解がなく、時代によって「正解らしきもの」が変わらうる、という点です。

具体例をあげます。以前の母子手帳には必ず3、4ヶ月頃の赤ちゃんには「日光浴をさせましょう」という記載が必りました。しかし1990年台後半あたりから日光浴を勧める記載が母子手帳から削除されました。これは紫外線が皮膚がんのリスクをあげる可能性が指摘されたことなどが原因です（ちなみに紫外線と皮膚がんの発生に関しては白色人種では確かに紫外線がリスクとなります）。今と昔の日本人でも同様であるというデータはありません）。ところが近年日光浴を避けたことによる思わぬ弊害が指摘されつつあります。それはビタミンD欠乏によるくる病です。くる病はかつて日本人の栄養状態が悪かった時代には比較的多かった病気ですが、最近はほとんど見られなくなつてきました。しかしこれ数年ほどで日光浴の不足などに

よると思われる子どものくる病の報告が日につくようになつてきています。このようなことから子どもの内分泌の専門家からは、適度な日光浴はやはり必要との主張がなされるようになつてきています。

別の例をあげると最近は赤ちゃんの離乳食開始は6ヶ月齢くらいを目標とされていますが、少し前までは3ヶ月位になつたら離乳開始の準備段階として果汁をあげていました。今はこのような果汁などの「舌なりし」は不要と考えられています。

このように時代によって正しいと考えられてきた育児方法が、その後に修正されることが少なくあります。こどもを育てるといつも「正解」を求めてしまいかがちですが、厳密な正解はないそもそも今後もないのではないかと個人的には考えています。

二つ目の点は、現代は一見情報量が多いようしていて、実際にはさほど質の良い情報は増えているのではないかということです。例をあげると、1990年代後半にMMRというワクチンが子どもの発達障害と関連するのではないかという

論文がイギリスの有名な医学雑誌に掲載されました。その後にイギリスではMMRワクチンの接種率が下がり、その結果はしか（MMRは麻疹ワクチンを含む）の患者が急増したのです。その後にMMRワクチンと発達障害の関連性を否定する研究結果が複数報告され、さらなる調査で最初の関係性を報告した研究は結果がねつ造されたものと判明しました（ちなみにその研究者はイギリスでの医師免許を剥奪され他国に渡り、今でも自説の正しさを訴えているようです）。しかし今でも「ワクチンは発達障害の原因となりうる」とするインターネットのページや書籍などを目にします。これらはねつ造された研究結果に関しては何も言及していません。

仕事が「〇〇とインターネットに書いてあったのですが、本当ですか?」という質問をうけることがよくあります。正しいことが書かれていることもあります。正しいことが書かれていることもあれば、間違っていることもあります。あるいは間違つてはいないけれど表現が正確ではない、などの様々な場合があります。よく親御さんにお話するのは「インターネットの検索順位は正しい

順ではなく、「注目を集めた順」という点です。例えばある病気があったとして昔はけっこう合併症が多かったが、今はよい治療法があつて合併症はまれ、というようなケースを考えてみます。

このような場合にインターネット上で「今日では治療法の進歩で合併症は少ない」よりは「こんな怖い合併症があつて、最悪××がおきる」のほうが注目を集めて検索上位に来やすい傾向があります。結果としてそれをみた人は「この病気はこんなに怖い」という記憶が中心に残ります。ウェブ上の情報は手軽かつ大量に入手しやすい反面、正しさが保証されていない、古い情報がそのまま残るなどの質の面での欠点があります（うまく探すとよい情報に当たることも多いですが）。育児に関する疑問に思つた点については複数の情報源にあたるか、健診などで医師に確認するのがよいのではないかと考えています。

も少なくなり一年目からは「丈夫になつた」という印象をもつことが多いと思います。

### 集団生活でもらいやすい病気で、予防可能なものとしてはしか、風疹、水

ぼうそう、おたふくかぜなどが挙げられます。これらのワクチンを集団生活に入る前に1回は接種しておくことをお薦めします（はしかと風疹はMRワクチンとしての定期接種、水ぼうそうとおたふくかぜは自費による任意の予防接種）。ただし残念なことに水ぼうそうとおたふくかぜはワクチンを打つてからしばらく時間がたつと予防効果が薄ってきて、時にかかることがあります。このため国によつては水ぼうそうとおたふくかぜのワクチンを一定期間おいて2回接種、という方針としているところもあります。これはクラスなどで集団感染があつた場合に、ワクチンを2回接種しているこどもは1回のみの場合と比べてより水ぼうそうやおたふくかぜにかかりにくかった、などの研究結果に基づくものです。水ぼうそう・おたふくかぜのワクチンを2回接種する場合に、1回目と2回目のワクチン間隔をどの程度あけたらよいかに関してははつきりとしたデータは残念ながらありません。日本では小児科学会のホームページに推奨スケジュールがありますので、それに準じた接種時期がひとつ目の目安かと思います。

## 集団生活に入る前に

最初の集団生活、特に保育園の一年目や幼稚園の一年目にはどうしても感染にさうされる機会が多くなります。多くは予防の難しいわゆるかぜがあり半で、年に1回（ないしはそれ以上の頻度で）熱を出すこともまれではありません。このようにかぜをもらいやすい状態はおおむね半年から一年かかりますが、その後は徐々に熱を出すこと

## キッコーマン総合病院創立100周年にあたって ～今までの100年、これから100年～

キッコーマン総合病院・院長 久保田 芳郎

2014年1月19日、キッコーマン総合病院創立100周年記念祝賀会が根本崇野田市長をはじめ、鈴木健彦千葉県健康福祉部保健医療担当部長、武藤徹一郎東京大学名誉教授・がん研有明病院名誉院長、小澤克之助野田市医師会長など大学、行政、医師会のご来賓の方々のご臨席を賜り、ホテルグランボワにて盛大に執り行われました。

当院は1914年（大正3年）1月10日に大正天皇即位記念事業として、キッコーマン総合病院の前身である野田醤油醸造組合立野田病院として設立されました。1914年といえばサラエボでオーストリア皇位継承者フランツ・フェルディナンド大公がセルビア人青年によって暗殺され、オーストリアがセルビアに宣戦布告して第一次世界大戦が始まった年であります。

以来1世紀に亘る歴史の中で、当院は弊社グループ社員だけでなく野田市及び近隣地域の皆様の病院として地域医療を担つてまいりました。100年もの永きにわたり存続できましたことは日本でも数少ない存在であり、キッコーマンの誇りでもあります。この記念すべき年を迎えることができましたのも、

ひとえに皆さまのご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます

今や日本は世界のどこの国も、どの時代も経験したことのない高齢社会を迎えようとしています。そこで社会が求めるのは健康寿命を延ばし、安心して暮らせるための“医療”であり、“介護”です。

幕末の志士・吉田松陰は“夢なき者に理想なし。理想なき者に計画なし。計画なき者に実行なし。実行なき者に成功なし。故に夢なき者に成功なし。”と記しています。

「食と健康」を掲げるキッコーマンは「企業は社会の公器である」との認識に基づき、これからも企業の社会的責任を果たしてまいります。“キッコーマン・オレンジ”に彩られた新病院は、大きな夢と燃える情熱、ゆるぎない信念を持って、これから100年も良質な信頼される医療を提供するとともに、健康情報を発信し幸せに満ちた高齢社会実現のため、日本の、世界の先陣をきつて職員一丸となり邁進してまいりたいと存じます。皆様にはなお一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



# 外来診療担当表

2014年3月時点

診察科		診療案内	月	火	水	木	金	土
内科	午前	総合／消化器	三上	清水	秋本	清水	三上	秋本
		大西					大西	若松
		生活習慣病	佐々木	土屋	佐々木	塚越		佐々木
		呼吸器			吉田正	栗山	桂	
		腎臓			太田(火曜日または土曜日)			
	午後	循環器	大野	大野	大野	久保田	木股	木股
		リウマチ／膠原病			高井	横澤		
		消化器	清水		大西	今村※	若松	
		生活習慣病	大楓	佐々木※		大楓	大楓	
		甲状腺外来		大楓※				
外科	午後	呼吸器			吉田正	栗山	桂	
		禁煙外来			佐々木※			佐々木※
	午前	総合	久保田	相馬	風間	相馬	久保田	山田
婦人科	午後	ストーマ外来	山田	近藤	川口		山田中	近藤
		乳腺外来			山田※			
産科	午前	総合	高嶺	大野	高嶺	石山	林	石山
	午後	総合	石山		石山	宇田川(月1回林)	宇田川	
小児科	午前	総合	石山	交代制	石山	渡邊	宇田川	高嶺
		宇田川	交代制	高嶺	石山	高嶺		
	午後	細井	水谷	竹内	竹内	水谷	交代制	
				水谷	細井	細井		原則第3のみ※神経初診不可
		専門外来						
		総合(月・水・金 当日予約可)	竹内※		交代制※	第1・2・3・5週赤木第4週交代制	細井※	
整形外科	午後	予防接種	竹内・細井※	水谷※	水谷・竹内※	交代制※	細井・水谷※	交代制※
		元気な子		健診優先(竹内)※				交代制※
	午前	専門外来		発達※		循環器※		原則第4のみ※内分泌初診不可
		総合	落合	小川	小川	野内	落合	野内
リハビリテーション科	午後	田中						
	午後	専門外来				脊椎外来 酒井※(第2・4週)		
		股関節外来 菅谷※(第2・4週)	スポーツ外来			足の外科 野内※	手の外科	
耳鼻咽喉科	午後				野内			
	午前	総合	大村	谷口	新井	結束		第1・3・5週石垣 第2・4週遠藤
眼科	午後	総合	大村	谷口▲	新井	結束		
	午前	総合	尾羽澤	花園	尾羽澤	交代制	尾羽澤	尾羽澤
皮膚科	午後				河野			
	午前	総合					篠田	
泌尿器科	午後	総合			尾羽澤※			
	午前	ストーマ外来	大村	大村	宇賀神		宗次	
脳神経外科	午後				大村	大村※	大村	大村
	午前	総合		大橋				

- 全科で予約診療を予定しています。お電話でのご予約受付時間は月曜日～土曜日(休診日除く)の午前9時から午後4時まで。

ご予約  
専用電話番号 **04-7123-5901** (直通)

ご予約受付は、診察ご希望日の前日までとなっております。

受診の際は診察券をお忘れなく、月初めの受診日には保険証をお持ちください。

- 外来受付時間 午前8時～午前11時、午後1時から午後3時 (皮膚科は午後1時～午後2時)

小児科の午後の診療は木曜日以外完全予約制となりますが、月・水・金は当日予約ができます。

(小児科のみ一般診察は午後2時30分から)

- 都合により診察担当医師が変更になる場合があります。

- ※印の診察は、完全予約制です。

- ▲印の診察は、手術のため休診となる場合があります。

# 循環器・消化器病検査担当表

平成26年3月1日現在

検査名		月	火	水	木	金	土
胃 内 視 鏡	午前	風間/近藤/相馬	三上／若松	清水/大西/若松	大西/山田	秋本／若松	清 水
腹 部 超 音 波	午前	秋本/清水/若松	秋本／大西		三上／若松		三上／大西
乳腺・甲状腺超音波	午前			近藤/相馬/山田		近藤/相馬/山田	
乳 腺 超 音 波	午後						
頸動脈超音波(13:30~)	午後	担当検査技師		担当検査技師	担当検査技師	担当検査技師	月2または3回※ 担当検査技師
大 腸 内 視 鏡	午後	三上/秋本/大西/若松	風間/近藤/山田	秋本/清水/若松	風間/相馬/山田	田 中	
心 臓 超 音 波	午前 午後	午後 大 野		午後 大 野		午後 大 野	

※頸動脈超音波の土曜日の検査は、月によって実施日に変動があります。何週目の土曜日かは、診察時にお問い合わせ下さい。

## 専門外来(予約)・特別診療のお知らせ

詳しくは各外来または予約係にお尋ね下さい。

平成26年3月1日現在

●外 科	乳 腺 外 来 (木曜日午後) ストーマ外来 (水曜日午後)	担当: 仁禮貴子 担当: 山田 純・大村 稔 鈴木麻子 (皮膚・排泄ケア認定看護師)
●整形外科	手の外科外来 (金曜日午後) 足の外科外来 (木曜日午後) スポーツ外来 (火曜日午後) 脊椎外来 (第2・4木曜日午後) 股関節外来 (第2・4月曜日午後)	担当: 田中利和 担当: 野内隆治 担当: 小川 健 担当: 酒井晋介 担当: 菅谷 久
●小 児 科	元気な子外来 (火曜日午後・土曜日午後) ※元気な子外来では乳幼児健診・慢性疾患の経過観察・育児教育相談・うつらない病気等の診察を行います。 循環器外来 (第1・2・3・5木曜日午後) 神経外来 (第3土曜日午前) 内分泌外来 (第4土曜日午後) 予防接種 (月曜日～土曜日午後) ※土曜日午後の予防接種は原則小学生以上のお子様が対象です。	担当: 小児科医師 担当: 赤木美智男 担当: 広瀬宏之 担当: 磯島 豪
●内 科	禁煙外来 (水曜日午後・土曜日午後)	担当: 佐々木信和

## 2014年 キッコーマン総合病院カレンダー

■は休診日

3 March							4 April							5 May						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
							1		1	2	3	4	5		1	2	3		4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12		4	5	6	7	8	9
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19		11	12	13	14	15	16
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26		18	19	20	21	22	23
23/ 30	24/ 31	25	26	27	28	29	27	28	29	30					25	26	27	28	29	30
6 June							7 July							8 August						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5			1	2		3	4	5	6
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12		3	4	5	6	7	8
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19		10	11	12	13	14	15
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26		17	18	19	20	21	22
29	30						27	28	29	30	31				24/ 31	25	26	27	28	29

# おもな非常勤外来担当医師紹介

## 内 科

腎臓内科 (火曜日または土曜日)	内科 (木曜日午後)	生活習慣病内科 (火曜日午前)	生活習慣病内科 (木曜日午前)	循環器内科 (木曜日午前)
太田 義章 おおた よしあき	今村 隆明 いまむら たかあき	土屋 天文 つちや たかふみ	塙越 乃亜 つかごし のあ	久保田 健之 くぼた たけゆき

専門分野 腎臓内科

千葉大学1978年卒業

医学博士  
日本内科学会認定医  
日本腎臓病学会専門医  
日本医師会認定産業医

専門分野 消化器内科

千葉大学1996年卒業

医学博士  
日本内科学会認定内科専門医、  
米国内科学会正会員、米国消化器  
病学会正会員、日本消化器病学会  
専門医、日本肝臓学会専門医

専門分野 糖尿病、内分泌代謝

群馬大学1995年卒業

医学博士  
日本糖尿病学会専門医  
日本内科学会認定医

専門分野 糖尿病、内分泌代謝

獨協医科大学2000年卒業

日本内科学会認定医  
日本糖尿病学会専門医

専門分野 循環器一般

東京慈恵会医科大学2000年卒業

日本循環器学会専門医  
日本内科学会認定医

## 内 科

循環器内科 (金曜日午前・土曜日午前)	呼吸器内科 (木曜日午前・午後)	呼吸器内科 (水曜日午前)	呼吸器内科 (金曜日午前・午後)	リウマチ・膠原病内科 (木曜日午前)
木股 伸恒 きまた なかひさ	栗山 祥子 くりやま さちこ	吉田 正宏 よしだ まさひろ	桂 蓉子 かつら ようこ	横澤 将宏 よこざわ まさひろ

専門分野 虚血性心疾患、  
未梢血管疾患

日本医科大学2003年卒業

日本内科学会認定医  
日本循環器学会専門医  
日本心血管インターベンション  
治療学会認定医

専門分野 呼吸器内科

順天堂大学2006年卒業

日本内科学会認定医

専門分野 呼吸器内科

東京慈恵会医科大学2007年卒業

専門分野 呼吸器内科

順天堂大学2006年卒業

日本内科学会認定医  
日本呼吸器学会専門医

## 内 科

リウマチ・膠原病内科 (水曜日午前)	整形外科 (土曜日月1回)	脊椎外来 (第2・4週木曜日午後)	整形外科 (水曜日午前)	整形外科、股関節外来 (土曜日午前、第2・4月曜日午後)
高井 千夏 たかい ちなつ	山崎 正志 やまさき まさし	酒井 晋介 さかい しんすけ	吉岡 友和 よしおか ともかず	菅谷 久 すがや ひさし

専門分野 膜原病・リウマチ

旭川医科大学2009年卒業

## 整 形 外 科

整形外科 (土曜日月1回)
専門分野 脊椎外科

千葉大学1983年卒業

医学博士  
日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医  
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科  
指導医  
日本整形外科学会代議員  
日本脊椎脊髄外科学会評議員

脊椎外来 (第2・4週木曜日午後)
専門分野 脊椎外科

筑波大学1997年卒業

医学博士  
日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

整形外科 (水曜日午前)
専門分野 膝関節外科

筑波大学1999年卒業

医学博士  
日本整形外科学会専門医  
日本体育協会公認スポーツドクター

## 外 科

外科 (水曜日午前)	外科 (金曜日午前)	乳腺外来 (木曜日午後)	(木曜日午後)	(火曜日午前)
川口 米栄 かわぐち よねえい	田中 潤一郎 たなか じゅんいちろう	仁禮 貴子 にれい たかこ	篠田 啓啓 しのだ けい	花園 元 はなぞの げん

専門分野 内視鏡外科、肝胆脾外科  
乳房外科

東京大学1987年卒業

日本肝胆脾外科学会評議員  
日本外科学会指導医・専門医・認定医  
日本消化器外科学会認定医  
日本消化器外科学会消化器がん外  
科治療認定医  
マンモグラフィ検査精度管理中央  
委員会読影認定医

専門分野 大腸肛門外科 消化器外科
東京大学1999年卒業

医学博士

日本外科学会専門医

専門分野 乳腺外科、消化器外科
信州大学2004年卒業

日本外科学会専門医

マンモグラフィ検査精度管理中央  
委員会読影認定医

専門分野 網膜硝子体、視覚生理
慶應義塾大学1990年卒業

医学博士

日本眼科学会指導医・専門医

## 産婦人科

婦人科 (金曜日午前、木曜日午後1回)	産科 (木曜日午前)	婦人科 (火曜日午前)	(第1・2・3・5木曜日午後)	(水曜日午前・午後)
林 雅敏 はやし まさとし	渡邊 史 わたなべ あや	大野 晴子 おおの はるこ	赤木 美智男 あかぎ みちお	谷口 雄一郎 やぐち ゆういちろう

専門分野 更年期医学、生殖医学、  
悪性腫瘍学、周産期医学

東京医科歯科大学1975年卒業

医学博士、獨協医科大学越谷病院院長、  
産婦人科教授、日本母性衛生学会常務  
理事、日本妊娠高血圧症学会・専門医、  
日本女性心身医学学会理事、埼玉県産婦人科  
医会理事、日本婦人科腫瘍学会評議員、日  
本更年期医学学会評議員、日本産婦人科、  
新生児血液学会評議員、日本臨床細胞  
学会評議員、悪性腫瘍化学療法研究機  
構(JGOG)会員、日本産科婦人科学会  
専門医

専門分野 産科婦人科一般、 メンタルヘルス
浜松医科大学2007年卒業

日本産科婦人科学会専門医

専門分野 産科婦人科一般
福井大学2010年卒業

専門分野 小児循環器病学、 医学教育学
東京大学1979年卒業

医学博士

杏林大学医学教育学教授  
日本小児科学会小児科専門医

## 耳鼻咽喉科

(水曜日午前・午後)

谷口 雄一郎  
やぐち ゆういちろう

専門分野 中耳疾患、 鼻副鼻腔疾患
東京慈恵会医科大学1996年卒業

医学博士  
日本耳鼻咽喉科学会専門医

日本睡眠学会認定医

## 当院スタッフ一同 こころを込めて出産をサポートいたします！

助産師 山田 晃代・吉田 明菜

新しいキッコーマン病院への引っ越しと同時に産婦人科を再開し、早いもので1年半が経ちました。嬉しいことに今日までに170人の新たな命の誕生に立ち会わせていただきました。

『産声』と言われる第一啼泣を耳に出来ることほど嬉しく、喜ばしいことはありません。母と子、二つの命を預かる現場、忙しさ・大変さもある中で、私たちは赤ちゃんの元気な声に癒され、パワーをもらっている毎日です。

少子化が続く今、私たち産婦人科・小児科医師、助産師、看護師は、『お母さんと家族の気持ちに寄り添うケア』をモットーに一丸となり、妊娠・出産・育児をサポートさせていただいております。

妊娠後期には、『より安全に・より安楽に』出産に臨んで頂けるよう、出産育児準備教室を月に2回開催しております。予定日を基準にクラス分けをしますので、受講者同士こころもからだもより身近に感じられ、情報交換・共有の場となり、和気あいあいと交流できています。

妊娠36週頃から、出産・育児について個別に助産師がお話を伺わせていただくことで、出産時御夫婦の意向に添い、さらに『産む力』を最大限に引き出せるよう、サポートさせていただいております。

そして最近では、イクメンという言葉がよく聞かれるようになりましたが、積極的に出産に参加して下さる御主人も多く、出産育児準備教室にも御夫婦で参加される方が増えています。陣痛と向き合っている本人にとって、御主人のサポートは何よりも心強いものです。立会い出産を構えず、御夫婦で我が子の誕生を迎えてみてはいかがでしょうか。

出産後もひとりひとりの意向に沿いながら、育児サポートをさせていただいております。当院では退院後の母乳育児サポートにも力を入れておりますので、出産後も気軽にご相談下さい。

そして、「キッコーマンといえばマンズワイン」を皆様御存知でしょうか。当院では可愛い赤ちゃんのお写真がラベルになったワインをお祝いとしてお渡ししています。さらに、お祝膳は洋食と和食を選択できます。ぜひ、御堪能あれ！！

新しく再開した、新生キッコーマン産婦人科で子育ての第一歩を踏み出してみませんか？

ぜひ、キッコーマン病院へお越し下さい。スタッフ一同、こころよりお待ちしております。



出産準備クラスの風景



お祝い膳



2階病棟スタッフ

**100th  
Anniversary**  
キッコーマン総合病院創立100周年

## キッコーマン総合病院の歩み

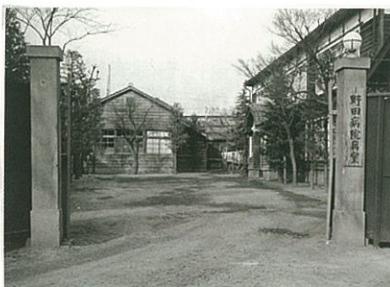
1862年（文久2年）頃市内の谷向に養生所を設けて、蔵勤人の紹介者を通じて弁天の永田知足先生が施療していました。その後、松戸警察署から野田醤油醸造組合に対して病舎設置の勧奨があり、1914年（大正3年）1月10日に大正天皇即位記念事業として野田町上花輪588番地に野田醤油醸造組合立の野田病院が開院しました。これがキッコーマン総合病院の前身です。1917年（大正6年）に野田醤油株式会社（キッコーマン株式会社の前身）創立、翌1918年（大正7年）に病院の維持管理一切が野田醤油株式会社に移管、同社の附属病院となりました。当院は、市内で度重なる移動をしています。病室と診療所が少し離れた場所にあり、患者さんや職員には不便な時代もありました。1966年（昭和41年）2月14日にはキッコーマン醤油株式会社の創立50周年記念事業として、上花輪から宮崎100番地に診療所と病室を兼ね備えた形で引っ越し開院しました。その建物も46年の年月の経過とともに、現代の医療に対応するには難しい設備・施設となつたため、2012年（平成24年）8月17日より現病院での診療開始となりました。そして今年、2014年に当院創立100周年を迎えました。今後の50年、100年、地域の皆さまへ貢献できるように職員一丸となり、より良い医療サービスを提供してまいります。



最初の野田病院(1914年、大正3年)



病棟と離れた場所(琴平通り)にあった野田病院診療所  
(1952年頃、昭和27年頃)



上花輪にあった野田病院病室(1952年頃、昭和27年頃)



宮崎100番地に移転新築(1966年、昭和41年)



新病院全景(2013年)

### 編集後記

日々、春の訪れを感じる季節となり、各地で梅の花もほころびはじめました。春はなにかと新しいスタートの季節ですね。当院は創立100周年を迎え、大きな節目の年となりました。キッコーマン総合病院100周年記念イベントとして、1階ロビーに歴史パネルを提示しております。懐かしい思い出と共に、歴史の重さを感じます。この春の訪れの様に、新年度へ向け、気持ちも新たにスタートしてまいりたいと思います。  
(外来師長 三好 恵)

発行 キッコーマン総合病院広報委員会

〒278-0005 千葉県野田市宮崎100番地  
TEL.04-7123-5911(代表)  
FAX.04-7123-5920

### スタッフ急募

助産師正社員・看護師(手術室)正社員  
助産師・看護師パート社員(病棟・外来・健診)  
看護助手パート社員・医事課パート社員

■お問合せ・お申し込みは

キッコーマン総合病院 採用

検索

<http://hospital.kikkoman.co.jp/recruit/index.html>